八戸警察署の交通指導取締り重点路線・重点地区（令和７年７月～１２月）

	重点路線・重点地区	指　　定　　理　　由
1	国道４５号	過去３年間の下半期における人身事故の発生件数及び重傷事故の発生件数が路線別で最多であるため。
2	国道３４０号	過去３年間の下半期における人身事故の発生件数は他の路線と比較すると少ないものの、死亡事故が４件発生したほか、重傷以上の割合が高い。 また、飲酒運転による事故の発生があるほか、事故当事者の危険認知速度が高い傾向にあるため。
3	中央交番管内	過去３年間の下半期における人身事故のうち、横断歩行者妨害違反に起因するものの割合が高い上、重傷以上の事故が多く発生している。 また、本年上半期における重傷事故の発生件数が前年上半期より増加し、飲酒運転による事故の発生も多いため。
4	みなと白銀交番管内	過去３年間の下半期における人身事故及び重傷以上の事故の発生件数が交番管内別で最多であり、横断歩行者妨害違反に起因する事故の発生割合も比較的高い。また、飲酒運転による事故の発生件数が多く、事故当事者の危険認知速度が高い傾向にあるため。
5	類家交番管内	過去３年間の下半期において、交差点関連違反に起因する人身事故の発生が約25パーセントを占め、危険認知速度が高い傾向にある。 また、管内の幹線道路の交通量が多く、本年上半期の事故発生件数も微増しているため。
6	下長交番管内	過去３年間の下半期において、交差点関連違反や横断歩行者妨害違反に起因する人身事故の発生が約20パーセントを占め、重傷事故も８件発生している。 また、事故当事者の危険認知速度が高い傾向にあるため。
7	売市交番管内	過去３年間の下半期において、交差点関連違反や横断歩行者妨害違反に起因する人身事故の発生が約35パーセントを占め、重傷事故も２件発生しているため。
8	八戸駅前交番管内	過去３年間の下半期における事故総数や負傷者数は減少傾向にあるものの、重傷以上の事故が４件発生している。 また、本年上半期においても歩行者被害の重傷事故が１件発生しているため。

※　重点路線・地区以外の場所であっても、必要に応じて取締りを実施します。

八戸警察署の交通指導取締り方針（令和７年７月～１２月）

	重点路線・重点地区	重点的に指導取締りを実施する違反種別						
		速度超過	信号無視	一時不停止	横断歩行者妨害	飲酒運転	携帯電話・シートベルト	自転車
1	国道４号	○	○				○	○
2	国道３４０号	○					○	
3	中央交番管内			○	○	○	○	○
4	みなと白銀交番管内	○		○	○		○	○
5	類家交番管内		○	○	○		○	
6	下長交番管内	○	○	○			○	
7	売市交番管内		○	○	○		○	
8	八戸駅前交番管内			○	○		○	

※　重点以外の違反種別であっても、必要に応じて取締りを実施します。